

# 国会闘争速報

2006年10月31日 第11号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

## 国会前のリレーハンスト続行

### 「緊急事態には全てを投げ打って闘おう」



国会前ハンストは11月10日まで延長が決定し、10月30日は通算10日目だ。ハンスト者は朝は都高教の組合員1名と支援1名ではじまったが、時間を経るごとに「自分はハンストに参加するために朝から食べていない」という人が次々と現れ、最終的に5〜6人になった。支援者も昼前後になると50名に増えた。組合決定でやってきた仙台市職組2名や動労千葉も座り込んでいる。国会審議開始に対して、怒りと危機感が広がって



いる。13時からは日教組座り込みだ。10日から座り込み継続の大分教組、20名以上で参加の東京教組、「26日は1000名の動員をやりぬいた」という都高教の列が目立つ。日教組は100

名以上が座り込み、それ以外に傍聴に20名を派遣している。途中、重慶爆撃の訴訟団のデモ隊数百人がやってきた。道路越しにお互いに手を振り、拍手をして合流した。

### 韓国労働者と連帯

14時過ぎには韓国山本労組の遠征団8名が登場し、ハンスト団とともに座り込んだ。日本の山本製作所が韓国の子会社を廃業・全員解雇したことへの抗議行動だ。韓国では仲間が職場に籠城してすでに122日目だという。連帯のアピールが交わされ、律動（韓国の労働歌と踊り）が披露され（写真上）、国会前は大いに盛り上がった。（裏へ）

### 「君が代」不起立への停職処分撤回求め

### 根津さん、河原井さんが提訴

10月30日、「君が代斉唱」時の不起立で停職処分を受けた中学教員の根津公子さんと養護学校教員の河原井純子さんが、都教委による処分の撤回と慰謝料の支払いを要求して東京地裁に提訴しました。記者会見で2人は、提訴した理由を「君が代不起立で免職が通つたら、教基法が改悪されたのと同じ状態ができる。それをどうしても止めたい」「重い処分が何を意味するのか社会的に問いたい」と、決意を込めて語りました。

### 衆院採決阻止への行動

- ◎教育労働者有志の国会前リレーハンスト（11月10日まで）  
連日 9時～18時
- ◎日教組の座り込み（同上）  
連日 13時～16時
- ◎東京教組の座り込み（同上）  
連日 16時～18時
- ◎全国連絡会の国会前集会  
毎週火曜 18時～19時
- ◎共謀罪反対の一日行動  
毎週火・金 12時～18時
- ◎反戦共同行動委の国会行動  
毎週火・金 12時～18時

- ◎11・5全国労働者集会  
正午 日比谷野音
- ◎11・6 3労組の国会行動
- ◎11・12 全国連絡会の集会  
13時 日比谷野音

(表からつづく) いつものようにハンスト団と日教組が時間を譲り合いながら、集会とシュプレヒコールが繰り返される。ハンストに立ち上がった都高教のIさんは「さつき大学生がきたが、教育の現状を伝えれば闘う気持ちになる。受け身でなく、自分が発信基地となって拮据していくことが大切」と宣言。ハンストに加わった予防訴訟原告団のKさんは「都教委は、卒業式で私たちが40秒座るだけで処分したり、式に乗り込んできて命令する。石原はこれ

## 国境をこえ、党派や産別や上部団体の違いをこえて

を全国に拡げると豪語した。本当に恐ろしいことだ。正義は勝つんだとやってきた結果が9・21判決。ここで本心に反対しないといけない」とアピール。日教組の座り込みは16時まで。しかし16時から東京教組単独の座り込みがはじまる。ハンスト団の集会で被処分者の会Kさんが提起。「いじめ問題も、高校の単位履修の問題も、教育委員会と文科省こそ元凶だ。個性を伸ばす、人権を尊重するという

# 11・5全労働者の団結で 安倍政権をうちたおそう

首切り・非正規雇用化と賃金の大幅切り下げ、格差拡大の嵐が労働者を襲っています。その上に、安倍政権のもとで今や、黙っていたら本当に戦争にかり出される時代が来ています。教育労働者を先頭にした国会前での闘いは、これへの怒りの総決起を全国に呼びかけるものに発展しました。いま始まったこの歴史的な闘いを、勝利に導くには何が必要か。資本の労働者支配を打ち破り、新たな戦争への道を阻止

するために、職場や産別の枠をこえ、政党や上部団体の違いをこえ、さらには国境をもこえた全労働者の団結をつくりだすことです。関西生コン・港合同・動労千葉の3労組が呼びかける11・5集会は、既成の労働運動指導部のもとで形骸化されてきた労働者の階級的団結を回復し、労働組合の闘う力をよみがえらせる集会です。11・5に結集し、戦争国会を阻む力をつくりだそう。

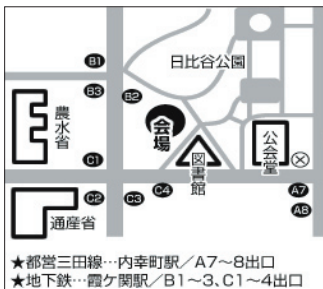
教基法の理念をないがしろにしてきた彼らの責任だ。教基法改悪は日本を戦争する国にする。絶対に許してはならない。リレーハンストに被処分者が立ち上がることを誇りに思っている



北教組から傍聴の報告  
傍聴参加の北教組の組合員が「国会では現場の危機感がまったくない。改悪を前提にしながら、どう変えるのかというやりとり。問題発言も次々飛び出す。国会前での闘いこそ全国に勇気を与えます。国会前と結合しながら、私は北海道で闘いを広げ、緊急事態には何をなげうつてもこの場に決起します」と報告。夕方からの東京教組座り込みは、仕事を終えた教員が加わり80名近くになった。国会行動に勝利の手応えを感じる一日であった。

## 11・5全国労働者総決起集会

日比谷野外音楽堂・正午開会



改憲・戦争と民営化に労働破壊に立ち向かう労働者の国際的団結を



### 海外からのアピール

韓国から 民主労総ソウル本部  
アメリカから  
ILWU (国際港湾倉庫労組)  
AMFA (ノースウエスト航空整備士労組)

### ●連帯の挨拶

佐藤昭夫／高山俊吉／小田原紀雄  
「日の丸・君が代」不起立被処分者  
国鉄1047名解雇撤回闘争から  
職場で闘う仲間から

呼びかけ 全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部  
全国金属機械港合同  
国鉄千葉動力車労働組合